

泉が丘地区

I 協議体の概要

名 称	泉が丘地区福社会議		
設置年月日	令和元年6月4日	開催頻度	3回/年
構成団体 (◎:事務局)			
○ 自治会連合会	○ まちづくり協議会	○ 民生委員児童委員協議会	◎ 地区社会福祉協議会
老人クラブ連合会	○ 福祉協力員連絡会	健康づくり推進委員会	第2層生活支援コーディネーター
○ 市社会福祉協議会	○ 地域包括支援センター	その他 ()	
設置方式			
新規設置	<input type="radio"/> 既存会議活用 (泉が丘地区福社会議) <input checked="" type="radio"/> ※ 地区社協が主催する、自治会、民生委員、福祉協力員等を中心とした、福祉のまちづくりについて検討する会議		地域ケア会議活用
設置要綱・会則等の有無		有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	
設置までの経緯			
時 期	内 容		
平成29年10月	地域ケア会議 (メンバー:自治会連合会, 民児協, 老人クラブ, 福祉協力員連絡会, 市社協, 包括) → 地域包括ケアシステムの概要について共通理解を図るとともに, 第2層協議体の体制等について意見交換を行った。		
平成31年4月	地域ケア会議 (メンバー:地区社協, 民児協, 老人クラブ, 福祉協力員連絡会, 市社協, 包括) → 地域包括ケアシステムについて理解を深め, 支え合い活動の進め方について検討を行った。		
令和元年6月	福社会議 (メンバー:自治会連合会, 民児協, 単位自治会, 民生委員, 福祉協力員, 市社協, 包括等) → 福社会議を第2層協議体として位置付けることについて合意形成を図った。		
〃	第2層協議体設置		
協議体における検討内容 (協議体で取り組んできたこと, 議論してきたこと)			
地域情報の共有, 課題やニーズの把握について		<ul style="list-style-type: none"> 地域包括支援センターや各地域団体からの活動報告, 民生委員からの情報提供 地域情報の共有で得た情報をもとに意見交換を行うことにより, 地域の課題を把握 	
支え合い活動について (見守り活動, 居場所づくり, 生活支援ボランティア等)		<ul style="list-style-type: none"> 見守りや支援が必要な高齢者を把握する仕組み作り (居住者台帳の整備) を検討 	

II 取組事例

【居住者台帳の整備に向けた検討】

内 容： 自治会加入・非加入に関わらず、支え合いのある地域づくりを推進するため、地区内の全ての住民を対象とし、氏名・生年月日等の基本情報に加え、かかりつけ医や災害等緊急時における支援の必要性等を記載した「居住者台帳」の整備について検討を進めている。

【「居住者台帳」のイメージ】

泉が丘地区居住者台帳

□自治会 第 班
□自治会未加入

居住 年
記入欄には差し支えない範囲で項目を記入してください。
記入後は各班の班長さんを通じて自治会長までお届け下さい。
枚数が不足の場合は複数枚使用してください。

住 所 宇都宮市 _____ 自治会 _____
自治会名 _____
班長名 _____ 緊急連絡先氏名 _____
電話番号 _____ 電話番号 _____

1 氏名	2 生年月日 男・女・年・月・日	3 性別 男女	4 住所 住所	5 勤務先 学校等	6 緊急時の支援 要○不要×	7 ①に○の人の有 りかありつけの 病院	8 自治会

効果（検討中の場合は、期待する効果）

- 自治会加入・非加入に関わらず、居住状況の把握や支援が必要な方の把握に役立つ。
- 緊急時の際、事前に情報が整備されていることにより、適切に対応できるようになることが考えられ、安心して生活を送ることができる地域づくりに繋がる。

#

III 協議体を設置して、良かったこと

居住者台帳の作成に係る検討を通して、地域の高齢者に対する事前の情報収集の重要性を再認識でき、各団体間の連携強化に繋がっている。

IV 今後の方向性

- 居住者台帳を作成し、地域の高齢者の現状把握を行う。
- 高齢者を支える地域づくりに向けた意見交換を行うほか、地域ケア会議と連携しながら、地域の高齢者のニーズや課題を把握し、解決策を検討していく。